

第7号

北見商工会議所青年部広報紙



トライ

北見商工会議所青年部例会



3月例会 (卒業式)

2003年

4月

北海道ブロック大会北見大会
実行委員会設立!! 始動!!



北見商工会議所青年部

北見商工会議所青年部事務局 〒080 8710 北見市北3条東1丁目 北見経済センター内
TEL(0157)23-4111・FAX(0157)22-2282 E-mail syokokac@okhotsku.jp

北海道ブロック大会北見大会
実行委員長 鈴木達裕



第16回北海道ブロック大会
北見大会まで残り6ヶ月

3月11日に開催された北見YEG臨時総会において、実行委員会設立のご承認をいただき、誠にありがとうございます。実行委員会が設立されるまでの経過の中で、企画プロジェクトメンバーが約3ヶ月に渡って様々な協議をさせていただきましました。昨年までのブロック大会の検証、北見大会が目指すべきもの、その思いの中で効果的な手法や方法、プログラム、大会までの運営スケジュール、実行委員会組織等々、様々な角度から、また様々な経験から、プロジェクトメンバー11名が語り合い、求め合いました。その内容については、既に2月例会での発表や臨時総会での資料で会員の皆様にご報告させていただいたところであり、また、第16回北海道ブロック大会北見大会まで残り6ヶ月となり、各部会、会議体では、

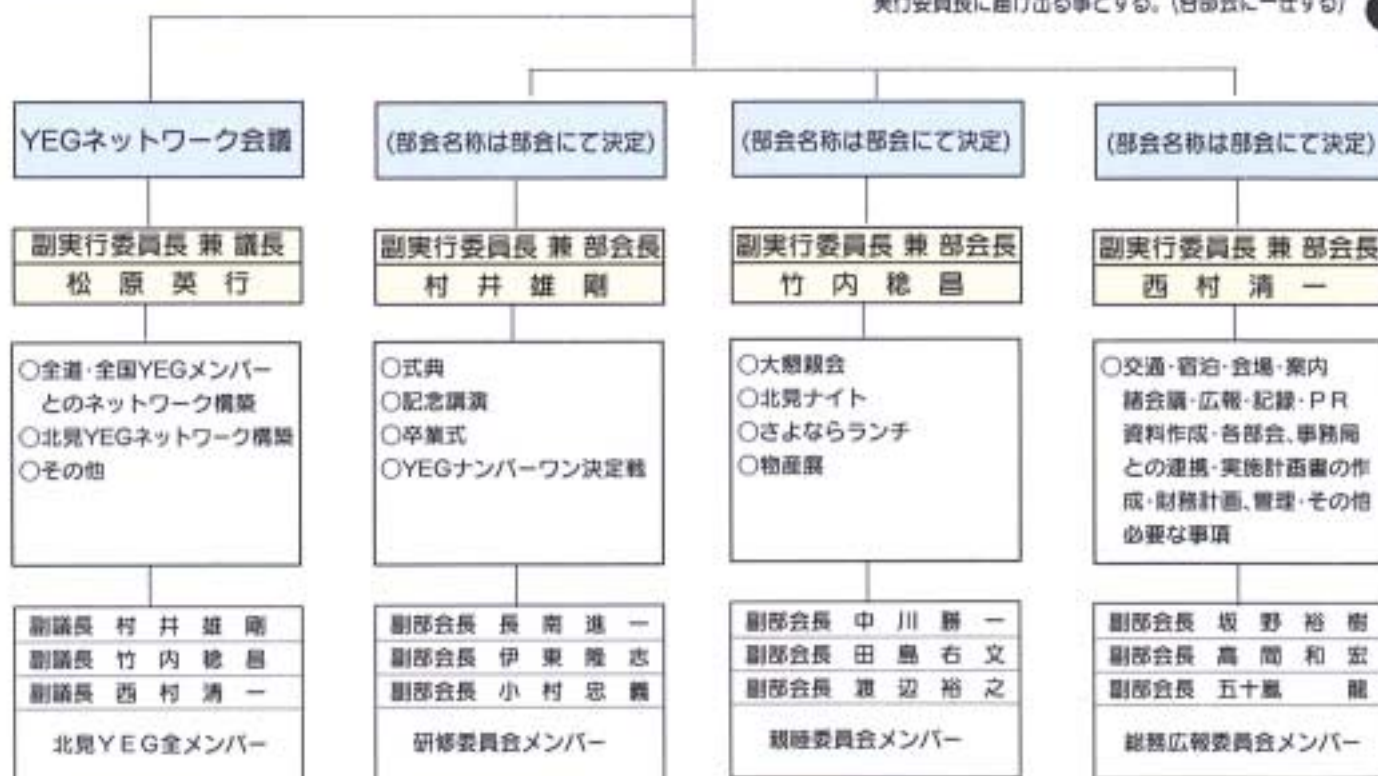
9月20日、21日の本報に向けて、詳細企画案の協議をしていくところであり、北見YEGメンバーへのお願いは、「自分自身が行きたくなるブロック大会」、「行って良かったと心底思えるブロック大会」、また主管する側として「苦勞はしたけれど主管して本当に良かったと思えるブロック大会」、「北見YEGが、そしてメンバー全員が何かを見つけて出せる、いや見つけ出したブロック大会」を目指してもらいたいと思います。そのために、各部会での協議等々では、「できない理由を考えるのではなく、できる理由を考えてもらいたい」と思います。この先、9月20日、21日の本番まで、今までに経験した事の無い様々な事が起きるかと思えます。当然の事ながら、良い事も、悪い事も、メンバーの皆様には、どんな時でも目指す所は一つという事を念頭に置き、すばらしい大会を創り上げるために、精一杯の活動をしていただきたいと思います。お願ひ申し上げます。活気溢れる北見YEG、元氣溢れる北見YEGメンバーになるための最高の機会と捉え、メンバー全員で頑張りましょう。

「第16回北海道ブロック北見大会主管実行委員会」組織図

平成33年3月11日現在 資料

主な会議

- 実行委員会(全メンバー)
地区大会に関わる事項の最高決議機関ただし、予算・人事に関する事項については総会議案とする
- 役員会議(会長・正副実行委員長・副部長・事務局)
各部会・各会議の進捗状況の確認、並びに、各部会・会議間の調整を主たる議題とする。
- 部会議(正副部長・部会委員)
- YEGネットワーク会議



例会報告

十二月例会 研修委員会



十二月例会
員講師例会の
第三弾で「危
機に沈むな！
明日をこめ」
と題して(東
亜企業の新井
富治氏に講師
をお願いまし
ました。

した。厳しい経済情勢下、熾烈な企業間競争に追い捲られ、ややもすると元気がなくなりがちになるなかで、果敢に新規事業に挑戦しようとする新井氏の取組みから元気が湧き分けてもらおうというのが例会の狙いでした。新井氏が挑戦したのは「バラム(風)」という焼肉店で、焼肉の町といわれるほど業者の多い業界に全く新しいコンセプトで、まさに風を起こそうとするものでした。皆さんもご承知の通り、「バラム」の盛況振りは現在も衰えることがありません。その盛況の原因は何よりも従来の業界常識にとらわれないこと、社長が確信を持ってコンセプトを打ち出したからにほかなりません。しかもそのコンセプトをしっかりと従業員に植え付けるため深夜まで徹底して議論するなど、従業員のモチベーション確保に並々ならない力が注がれています。バラム開店までのいきさつが生々しく語られる中で、今思えば「バラム」成功の秘密がひしひしと伝わった例会であったといえます。研修委員会としては、本年最高の例会であったと自負すると共に、何とバラム開店のその日に出席をいただいた新井氏に心から感謝を申し上げます。

研修委員会委員長 長南 進一

一月例会 親睦委員会



1月24日
ロイヤルホ
テルにおい
て平成15年
度新年例会
が来賓8名
を含む総勢
53名で行わ
れました。今
年は北見
Y.E.G.全大
会主管という事もあり、「全会
員が一丸となり作り上げる新
会」をテーマに委員会対抗かく
し芸大会を開催いたしました。
三役・各委員会におかれまして
は年末年始の大変お忙しい中、
内容の協議、練習に取り組み
いただき改めて感謝申し上げます。

研修委員会は坂井監事を先頭に「2人羽織福笑い」を、総務広報委員会は「テーブルクロス引き」を披露し、我々親睦委員会は「ちよつとあやしいダンス」を踊りました。トリは三役の出し物で、舛川会長・西村副会長・竹内副会長3名による病院を舞台としたカラオケの披露で、なんともりアリティイの溢れる演出が印象的でした。(三役におかれましては打ち合わせに多額の費用を費やされたとお聞きしております)結果一位はテーブルクロス引きで素晴らしい芸を見せた総務広報委員会が勝ち取り、見事賞品(岩松の湯入浴巻)を手にいれました。これらの余興を中心に終始和やかな雰囲気の中、式は進みました。

今年で3回目を向える新年会でしたが、「北見Y.E.G.としての新年会のあるべき姿」を模索し、少しずつ確立していければよいのではないかと考えております。親睦委員会委員長 中川 勝一

二月例会 研修委員会



会員同士
が「もつと
語り合い、
互いを知り
合い、認め
合う」こと
ができた
に我々の
未来開ける

「隔より始めよ！」舛川会長の言葉から北見Y.E.G.は全道大会に向けて動き出しました。大会コンセプトを決めるため企画プロジェクトチーム(以下PJと呼ぶ)が編成され、役員会・PJ内の分会を含めて、さまざまな方向から企画・組織・スケジュール等が検討されていたところでありました。

本例会は、PJの方向性がほぼ固まってきたことから、研修委員会の開催枠を譲っていたいた形でPJ例会を開催する運びとなったものであります。熱い心をなんとか伝えなかったことから、似合わないサッカーユニフォームに身を包んでの発表となりましたが、その心遣いは「これからの全道大会の方向性を打ち出し、北見大会からスタートさせるんだ」という気持ちで溢れ溢れておりました。ホスピタリティを前面に出し、北見の持てる力を惜しみなく発揮できたとき「メンバー全員に感動と自信を手に入れてもらいたい」鈴木実行委員長の思い描いていた北見の未来が広がります。

企画プロジェクトチーム 伊東 隆志

三月例会 総務広報委員会



平成14年
度の締めく
くりとなる
本例会では
総務広報委員
会をテーマに
この1年を振
り返り例会、
委員会等へ
の参加状況
を委員会と個人
単位でランキン
グをし、表彰
を行いました。

を委員会と個人単位でランキングをし、表彰を行いました。その中で模範となる例会100%出席者7名のスピーチを聞き、意識の高さを本例会に参加したメンバーは感じ取って頂けたと思います。(ランキングの詳細は本誌に別記されています)その後、本年度卒業される坂田君の「慰労の念」「感謝の念」を持って卒業式を行い、坂田君の知らない姿を垣間見ることが出来たと思えます。年度末の例会で卒業式を執り行うことは本年から始めたいことですが今後、慣例化して式の内容をよりよい形へ向け発展させて行くことが、組織の充実へつながることと思えます。

例会の反省点ですが進行の拙さが非常に印象に残ったことと思えます。企画の段階、個人の作業範囲に描いては非常に完成度は高かったのですが、全体を通してありハイスルをしながらためたような結果になってしまいました。この失敗を教訓とし、またパネにし委員会一同、気合を入れ直し新年度2年目へ向け、スタートしたいと思っております。

総務広報委員会委員長 坂野 裕樹

平成15年度 TRY 委員会単位

委員会	個人単位	出席率
・例会出席率		
優勝 研修委員会		60.0%
準優勝 総務広報委員会		45.1%
3位 親睦委員会		42.2%
・委員会出席率		
優勝 総務広報委員会		49.5%
準優勝 研修委員会		45.4%
3位 親睦委員会		40.7%
・例会出席率		
小林 義男君	出席率	100%
小村 忠義君	出席率	100%
塩野谷源一君	出席率	100%
長南 進一君	出席率	100%
岸本 りさ君	出席率	100%
中川 勝一君	出席率	100%
平井 良紀君	出席率	100%
・委員会出席率		
伊東 隆志君	出席率	100%

次号第8号は平成十五年八月発行です。
TRYに載せて欲しい記事をお持ちの方は、お気軽に総務広報委員会まで、お知らせください。